

# チュウビ

オス



メス



幼羽



チュウビは年齢や雌雄による羽色の差が大きい

- オス：翼の上や尾羽は青味がかかった灰色で、腰が白い
- メス：全体的に茶色っぽく翼の上や尾羽はまだら模様で、腰は褐色
- 幼羽：全体的に茶色っぽく頭と肩がクリーム色

## サロベツでチュウビがみられる場所



## チュウビ観察の注意点

チュウビは警戒心が強い敏感な鳥です。観察や撮影は、車内や物陰から行き、なるべく距離を取って、短時間で済ませましょう。特に、頭上で羽ばたきながら飛び回ったり、ずっと旋回を続ける場合はその場から離れてください。

- ・ ササ原や湿地、牧草地に立ち入らない
- ・ 車から降りずに観察し追いかけてまわさない
- ・ 長時間観察しない

## 発行・お問い合わせ

- ・ 環境省 稚内自然保護官事務所  
☎ 0162-33-1100  
北海道稚内市末広5-6-1 稚内地方合同庁舎
- ・ NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク  
☎ 0162-82-3232  
北海道天塩郡豊富町字上サロベツ8662番地  
サロベツ湿原センター内
- ・ 監修：先崎啓究 イラスト：廣瀬美穂子
- ・ 発行年月：2019.11 鳥類情報 →



草原の鷹

チュウビ

# チュウビの生息分布

サロベツ

■ 繁殖地  
■ 繁殖地・越冬地

世界：中国東北部・アムール地方で繁殖し、  
中国南部・東南アジアで越冬

国内：北海道・東北北部を中心に80-90つがい  
が繁殖  
東北南部以南では少数がまばらに繁殖  
本州以南（一部北海道）で越冬

サロベツ：30-50つがい程度 国内最大の繁殖地

保護指定：国内希少野生動植物種（2017年～）

環境省レッドリスト：絶滅危惧IB類（EN）

詳しい情報は「チュウビの保護の進め方」→



# チュウビ

Eastern Marsh Harrier  
*Circus spilonotus*

タカ目タカ科

国内で唯一草原の地上で繁殖するタカ

体長：♂ 48cm ♀ 58cm

主にメスが抱卵・育雛し、オスが採餌する。

巣：ササ原・ヨシ原に作る。

卵数は3~6個で、巣立ちする雛は1~4羽。

飛行：普段は低空を翼をV字に保ちながら飛翔するが、  
繁殖期には翼をたたんで高空かららせん状に急  
降下するディスプレイも行う。

餌：ネズミ、小鳥、カエル等

生活サイクル（サロベツの場合）



影響： 無 極大 大 中 少 無



富士元寿彦撮影

## チュウビの保全と 共存に向けて求められること

- ・繁殖調査の継続
- ・繁殖地の保護（保護区の拡大、土地の購入等）
- ・繁殖地周辺での工事や農作業時の配慮
- ・普及啓発（サロベツのチュウビ情報の発信）
- ・繁殖情報の収集と共有
- ・チュウビの存在を許容し見守ること

## サロベツ周辺におけるチュウビの保全上の課題

- ・サロベツ周辺の巣のうち1/4程度が農地や河川沿いなどの保護区（国立公園等）の外にあるため、開発等により繁殖地や採餌場が失われる可能性があります。
- ・チュウビは採餌場や営巣地周辺において、日常的に行われる農作業には慣れやすいですが、工事や調査、観察等には敏感に反応するため、実施の際には最大限の配慮が必要です。
- ・地上で繁殖するため、巣の存在に気付かれないまま周辺で作業が進められ、繁殖をやめてしまうこともあります。このため秘匿情報であることに留意をした上で、関係者への繁殖情報の共有が必要です。